

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制

平成30年4月1日

石川県済生会金沢病院

項 目	計 画
① 看護職員の確保、定着	
・新卒看護師の採用拡大	ホームページの改訂、採用説明会への参加、病院見学説明会の開催と内容の改訂
・既卒看護師への就業支援	フォローアッププログラムの充実・広報 就業前研修の実施
・院内保育所の充実	休日勤務者の保育拡大、夜間保育の継続
・メンタルサポート	精神保健福祉士によるメンタルヘルスケアの継続と、管理者教育、産業医による面談の実施を拡充
	パワハラ、セクハラ、こころの相談継続
	ハラスメント対策委員会の設置
・多様な勤務形態の拡充	短時間正規職員制度、雇用形態の変更に関する柔軟な対応
	出退勤時間の柔軟な対応により、時間外労働時間を削減する
・休暇制度の利用促進	勤続10年目、20年目、30年目のリフレッシュ休暇取得を促進する
② 労働環境の改善	
・介護福祉士の増員による更なる業務移行	清拭、洗髪、介助入浴、食事、移送等
	看護補助者による事務作業補助を行う
・薬剤部門との役割分担	服薬指導、化学療法のみキシング、持参薬の鑑別
・薬剤部門との役割分担	薬剤部門にて病棟配置薬剤の在庫管理を行う

②	・臨床検査部門との役割分担	外来での検体検査の採血、救急外来からの検体搬送等実施
	・臨床工学部門との役割分担	医療機器管理、使用に際しての教育・啓蒙、手術・透析の医療機器操作、救急カートの点検等
	・リハビリ職種との役割分担	病棟、訓練室間の移動介助
	・事務職員との役割分担	入院、透析での定期請求書の事務職員からの交付
		病棟配置クランクにより病棟窓口対応、患者ファイルの綴じ込みなどの書類管理の補助等を行う
	・勤務体制の改善	入院コーナーを常設し、事務職員により入院に際しての説明及び書類交付等の補助
正循環夜勤を導入し、勤務間隔を12時間以上確保する 入外一元化により、本人の意向を踏まえて勤務場所(外来勤務・病棟勤務)が選択できる体制を整える		
③ 労働意欲の向上、処遇改善、やりがいの創出など		
・キャリア形成の援助	院内研修の充実、認定看護師資格取得支援	
	成長段階の評価の実施(クリニカルラダー)	
・夜勤回数超過者への手当の支給	病欠等により夜勤を交代した結果、夜勤回数が8回を超えた看護師に対し、夜勤手当の他に特別手当の支給を行う。	
・看護外来の推進	リンパ浮腫外来、ストーマケア外来、フットケア外来を実施中。今後も機能の拡充を進める。	
④ 医療安全への配慮		
・誤指示受け防止	電子カルテの認証機能活用	